

各回同窓会からの

近況報告

各回同窓生の方々から

ご寄稿いただきました。

第一回生

深堀 讓治

旧制の県立長崎中学校（明治十七年に創設）・県立瓊浦中学校・県立長崎高等女学校・市立高等女学校の四校が、学制改革によって昭和二三年四月に、それぞれ高等学校となっていました。十一月に四校は地域によって東高・西高の二校に再編され、東高は県立長崎高女（鉄筋造）の跡（西山）に、西高は県立長崎中学（木造）の跡（鳴滝）に創設されました。

その後、六七年の間長崎県のリーダー校として、東高と共に歴史を築かれてきているのは、大変頼もしい事です。

従って、一回生は五ヶ月だけの在籍でしたので、一度も同窓会を開くことなく過ぎてしまいました。

同窓の皆様のご活躍を祈念いたしております。

第二回生

土居 孝

今回は報告する行事等はありません。

せんでした。

第三回生

瀬川 繁

昭和二六年卒業の三回生は、同期会を二六会と呼び、卒業年に合わせて（不老会）とも言う。同期会の開催は昭和四一年男性の有志が集まって始め、四回目から女性も参加、一回も休むことなく続けて今年で五十回目を迎える。記念の同期会であるから五十名以上の出席者を見込んでおり、開催日は五月二三日（土）、開催場所はホテルニュー長崎「桃林」と決まっています。この原稿提出日には今年の会の状況報告及び写真が間に合わないので、昨年の記念写真を添付しこれに代えることにする。因みに卒業時のメンバーは四一八名、現時点での逝去者は男性九三名、女性四一名、住所不明者を除いて案内状発送者は二六五名である。



長崎西高3回生 不老会同窓会 平成26年5月10日 於宝来軒

ベリー、ブラックベリー、野生の森にひっそりと生きる野いちご、種々のいちごの原点は母校長崎西高にあります。昔の仲間いちご会の皆さんはこれからも強い絆で結ばれ、永遠に輝き続けることでしょう。



第十六回生

今回は報告する行事等はありませんでした。

古賀 易之

第十七回生

今回は報告する行事等はありませんでした。

草野 義広

第十八回生

今回は報告する行事等はありませんでした。

宮崎惣太郎

第十九回生

私たち十九回卒(トピック)十九会は、七年前、還暦同窓会を佐賀県古湯温泉にて開催以来、平成二三年大阪、平成二五年長崎と二年毎に開催してきました。

櫻井 静矢

同窓会の度に現在(仕事、健康、孫、趣味)、過去(西高の思い出)、未来(健康、趣味、人生)の話題に花が咲き、時間だけが過ぎていき、会場に何か忘れ物をした様な、又心残りのままいつも散会：

今年是在京組が盛り上がり平成二七年十一月九日、十九会同窓会を東京にて開催します。翌十日は観光組、ゴルフ組と分かれ親睦を深める予定。只今、在京実行委員会は準備(飲み会)に奮闘中です。十九会の皆さん、東京だよ全員集合。

第二十回生

私達二十回生は毎年二回の各クラス役員を中心に有志三十名以上の親睦会を行っています。

弓削 泰司

在京の同期生も時には会に加わりなごやかな時を過ごし、また長崎からも東京で年に一回開かれて一泊二日の旅行へ二三名参加するなど、それぞれの絆を深めています。

今年は三年目の二十回生同窓会を、来る九月五日(土) ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービルにて予定し、クラス役員の皆様の協力をいただいて準備を進めているところです。

親睦会での楽しい語らいの雰囲気と同窓会でもっと盛り上げる事ができれば参加者の皆さんに喜んでいただけたと思います。

第二一回生

今回は報告する行事等はありませんでした。

北御門哲文

第二二回生

今回は報告する行事等はありませんでした。

樋口 省二

第二三回生

今回は報告する行事等はありませんでした。

西原 治樹

第二四回生

二四回生同窓会は卒業後、代議員を峰君、北島君、馬場君、藤井君にしていたきました。下釜君

山之内 宏一

には二四回生同窓会の準備、開催の中心となつて、お世話をしていたきました。おかげで平成二五年還暦同窓会も盛大に開催することができました。今回、これを、ひとつの区切りとして、二四回生同窓会が新しい体制になりました。同窓生の親睦を目的とし、いろいろな情報を提供できるように

に、ホームページも作りました。アドレスは<http://www.nagsk-west.nid.jp>です。仕事や子育てもひと段落し、これからの人生をいかに楽しむか。いろいろなアイデアを出し合いながら、楽しんでいこうと幹事一同ハリキってます。二四回生のみんな、是非ホームページを覗いて、参加してください。

第二五回生 野口 己喜夫

さる平成二六年九月十四日十八時、還暦同窓会をホテルニュー長崎地下にて開催しました。

受付をしていますが、誰が誰か解らないので、顔を眉毛からの下の方へフォーカスすると、「ああ、〇〇君ね!」と言った調子で、相当時間がかかってしまいました。

いやいや、四二年も経つと、みんな見事に額、いや顔が広がっています(笑)。

三年生の折、クラス担任をされた松永純一先生にもご臨席いただき、冒頭のご祝辞(というよりも、「何かの授業が始まったのか?」というザワメキ……)を賜り、和気あいあいの中、開会されました。

北は千葉県、南は沖縄県からも駆けつけてくれて、東京同窓会の堤田君、中京同窓会の神田君、福岡同窓会の柳瀬さんとそれぞれの

紹介に始まり、同窓生唯一の政治家野口達也市議(本年無事再選されました。おめでとう)の乾杯の音頭で乾杯するやいなや、もう何も聞こえなくなるくらい話に花が咲き、あっという間に閉会となり、お喋りの続きは二次会場へと移っていきました。

(代筆 鍵山日出幸)



第二六回生

長澤 和彦

私たち二十六回生は、西高同窓会の会長として瀨崎宏明君を送り出しています。そのせいもあつ

て、毎年秋に行われている在校生への講演会に、一昨年は驚崎直君(三菱商事エネルギー事業グループCIO)、昨年は古川英俊君(三井住友銀行副頭取)という二人の同級生に講師をお願いしました。ともに日本経済を牽引する企業で活躍している方々だけに、在校生たちには強いインパクトを与えたようで、大変好評でした。また、地元長崎のみならず、東海や在京の同窓会でも、後輩のために、同期のメンバーがボランティアで尽力しています。

今年度は私たちもついに還暦を迎えます。一部、誕生日に会社の定年を迎え、すでに準年金生活者の仲間入りをした者もいます。現在、来年二月に還暦同窓会を実施すべく鋭意準備作業中です。一人でも多くの同窓生に参加していただきたいと思っておりますので、この冊子を読まれた皆さんのご協力、ご連絡を期待しております。

第二七回生

北島 守幸

ついに来たゾウツ!!「かんれき!!六十才(来年のことですけど)」。

そういう訳で今年は予行練習の年。幹事総勢四十名ほどで「下見をしますか?」という事になつております。海の方(海水浴?) or 山の方(稲佐山 or 雲仙岳 or うれしの)。近々召集をかけて場所選